

工業技術センターの特許が登録

国分電機株式会社、鹿児島大学及び当センターの産学官により共同出願していました「力率改善回路」が3月15日に特許として登録されました。(特許第3288367号)

この特許は、電源高調波電流規制に適合したインバータ照明機器向け力率改善回路として開発し

たもので、異常電圧抑制機能、低発熱等の特徴があり、一般的なスイッチング電源にも応用が可能です。

特許の詳細等につきましては、企画情報部までご連絡下さい。

課題対応技術革新促進事業に2件が採択

中小企業総合事業団が公募した「課題対応新技術研究調査事業(F/S)」に、株式会社フジヤマの「負荷低減型水産加工業製造システム開発に関する研究調査」とカクイ株式会社の「綿材を利用した電磁波吸収材の開発に関する研究調査」が採択されました。この事業は、中小企業者等に対し、国が経済・社会ニーズに即応した技術開発課題を提示し、優れた提案について委託し、産業の核となる新たな技術を生み出すとともに技術革新を一層強力に進めることで、新規事業・雇用の創出を促進し、活力ある我が国経済を実現することを目的としたものです。

株式会社フジヤマからの提案は、水産加工業界から環境負荷低減のために製造工程の見直し及び装置開発の強い要請を受けたものです。鯉節製造業の工程中で、汚濁負荷量の高い解体工程、煮熟工程を研究調査し、排水量と汚濁負荷量の低減を図ろうというもので、産学官連携体制による研究調査を行うものです。

カクイ株式会社からの提案は、シート状の脱脂綿を炭化処理して得られる炭化綿繊維集合体を用いた電磁波吸収材を開発するもので、工業技術センターとの共同研究の成果等も活用したものです。

薩摩焼が国の伝統的工芸品に指定

鹿児島県の工芸品である薩摩焼が、県内では本場大島紬、川辺仏壇に続いて27年ぶりに、国の伝統的工芸品として経済産業省から指定を受けました。全国で198番目、九州では2001年の八女ちょうちんに続き16番目です。九州で陶磁器が指定されたのは唐津焼(佐賀県)以来14年ぶりです。

県内の業界団体である鹿児島県陶業協同組合が申請したもので、伝統的工芸品の指定には、日常生活で使用されるものや伝統的な製法・技法でつくられているかなどの要件を満たす必要がありま

すが、県内各地で生産される「白薩摩」と「黒薩摩」は百年以上の歴史を持ち製造工程の主要部分が手作業で独特の製法や口述で伝わる技法などが高く評価されたようです。

工業技術センターでは、これまで薩摩焼業界の技術的な支援を行って参りましたが、今後とも後継者育成に向けた研修会の開催・原材料に関するデータの蓄積・業界ニーズに対応した研究開発等を通して業界全体の底上げに引き続き協力していきます。